

一人ひとりが輝くあきる野の中学生を育てます

秋多中学校



校長 丹治 充
副校長 渡辺 暁

学校教育目標
いのちの尊さを深く自覚し、たくましく生き、進んで社会の発展に尽くす人を目指して
豊かな心をもつ
たくましい体をつくる
しなやかな個性を磨く
目指す学校像
学力の確実な定着と健康増進及び体力の向上を図り、豊かな活動を通して個性と想像力を伸ばし、生徒と教師が共に燃え、感動できる学校を目指します。

生徒は明るく意欲的で、落ち着いて授業に取り組んでいます。保護者や地域の方々は学校に協力的でPTA活動も活発に行われています。秋多中の学校生活は、朝の気持ちの良い挨拶と始業前の10分間朝読書に始まり、放課後の活発な部活動で一日が終わりです。特色ある教育活動は「いのちを尊ぶ教育」を柱に道徳や総合的な学習の時間を通して豊かな心を育成します。また、国語や数学、英語では少人数指導で授業を行い、学力の確実な定着と学力向上を目指しています。さらに、近年の子供の体力低下を受け、体育では授業内容を工夫するなど体力・運動能力の向上を図るよう努めています。

西中学校



校長 山形 正則
副校長 川杉 稔

・学校目標にある「本気」「元気」「根気」を合言葉に、思いやりと規律と活力のある学校を目指しています。
・「思いやりの心を育む教育」を中心に据え、コスモス街道の整備や都立あきる野学園との交流を通して、教育実践を行います。
・「基礎・基本の充実」を重点課題とし、国語・数学の少人数指導等による「学力の基礎・基本」の定着、部活動や行事による「生活の基礎・基本」、障がいのある方々との交流による「心の基礎・基本」の充実を図っていきます。

あきる野市のほぼ中央に位置し、周囲を、都立あきる野学園、西多摩養育支援センター、富士通そして野菜やクリの畑に囲まれた学校です。また、昨年度より、情緒障害対象の特別支援学級を開級しました。学区内小学校・都立あきる野学園との連携を更に強化し、あきる野市の特別支援教育の充実にも努めています。

すばらしい教育環境の中で、生徒は知・徳・体をバランスよく学んでいる学校です。「知」の面では、各教科の学習をはじめ、朝読書や選択授業に真剣に取り組んでいます。「徳」の育成面では、行事や総合的な学習の時間を中心にしたコスモス街道の整備や障がいのある方々との交流・体験を通して、「思いやりの心」をしっかりと培っています。「体」の面では、体育大会や行事に積極的に取り組み、強く美しい競技・演技を目指しています。また、多くの部活動で東京都のトップレベルの成績を目指しています。

増戸中学校



校長 田島 弘之
副校長 曾我 有二

教育目標
・夢を持ち続ける人
・進んで努力する人
・思いやりのある人
より質の高い教育を提供するために
・基礎・基本の確実な定着
・規律・規範意識の醸成

本校の教育目標に掲げた「夢を持ち続ける人」「進んで努力する人」「思いやりのある人」は、混沌とした社会を乗り切っていくための指針となっています。将来が不透明な現代にあって、よりよい人生を送ることができるよう、「どこへ行ってもやっていける人間」の育成を目指していきます。

本校は、豊かな自然に囲まれています。生徒は明るく素直であり、落ち着いた学校生活の中で、学習や部活動に取り組んでいます。今年度は、数学・英語において、少人数指導を行っています。また、24年度学習指導要領の完全実施を視野に入れ、基礎・基本の定着を目指して、学校として選択教科を設定しています。さらに、「総合的な学習の時間」の名称を「未来科」とし、1年では「自己探求」、2年では「自己開拓」、3年では「自己実現」という目標を掲げ、「未来像を描き、協同して実現に向かう人間の育成」を目指しています。

学区においては1小学校、1中学校であるため、22・23年度は、市の研究推進校として増戸小学校とともに、小中一貫教育の視点に立ち、研究を進めてまいります。また、保護者・地域からご協力、ご支援をいただきながら、「生徒、保護者・地域、教職員にとって、誇れる学校」づくりを推進していきます。

東中学校



校長 清水 信光
副校長 高島 昇

教育目標（目指す生徒像）
社会の変化に対応できる 心身ともに健全な社会人の育成をめざして
よく考え最後までやり抜く人
豊かな心をもち思いやりのある人
常に自分を高めようと努力し創造力のある人
本年度の重点的な取り組み
学校内外での生活のさらなる安定を基盤にして、「人権教育と特別支援教育の充実」「学力・学習の充実」「基本的な生活習慣の徹底」を図ります。
特色ある活動

キャッチフレーズ「自信と誇りの東中」
東中は創立当時より、生徒は活気とエネルギーに溢れ充実した学校生活を送っています。教職員も生徒を第一に考え熱心で主体性をもって教育活動を行っています。地域も学校教育に全面的に協力してくださり、その底力は大きなものがあります。私たちの使命は「人が育ち人が輝くあきる野の教育」の意味をしっかりと認識し、郷土の未来を託せる生徒を育てることと考えます。そのことに自信と誇りをもち邁進していきます。

東中は、運動部、文化部ともに活動が盛んで明るく元気一杯な生徒で溢れています。また、特別支援学級の生徒は全員青梅マラソンに参加し走っています。一人一人の生徒を大切に、思いやりの心あふれる学校をめざします。

御堂中学校



校長 山崎 雅司
副校長 村田 晃彦

人権尊重の精神を基調とし、自主・自立、真理の探究の精神に富み、心豊かでたくましい生徒を育成するため次のように教育目標を掲げています。
・自ら学び自ら考え実行する生徒（自主）
・理想に向かって向上努力する生徒（努力）
・美しい心たくましい体の生徒（健康）

- （1）特別支援コーディネーターを中心に一人ひとりの生徒の発達段階に応じた学習指導や継続的対応を目指します。
- （2）教育相談部を中心に、生徒の心のケアや不登校生徒への指導をスクールカウンセラーとともに組織的な相談活動を行い、いじめ・不登校ゼロを目指します。
- （3）地域の小学校と連携し、保護者、地域の方々の協力を得ながら、9年間を見通した教育活動をすすめ、生徒の持つ可能性を最大限に発揮させます。

本校は、草花丘陵を背に、南に平井川、西に遠く奥多摩の山々を望む自然環境に恵まれた地域です。保護者・地域の方々は本校の教育に大きな期待を寄せ大協力的です。

生徒は、明るく素直で授業や部活動に熱心に取り組んでいます。生徒会ではより良い人間関係づくりを目指して、「あいさつは御堂の顔」をスローガンに取り組んでいます。また、生徒会活動による環境への意識を高めるために今年度も「もったいない運動」に継続して取り組みます。また、「太陽光発電」の設置を機会に環境教育のさらなる推進を行います。

五日市中学校



校長 加藤 高明
副校長 守屋 和広

教育目標
・よく考えて行動する生徒（自律）
・進んで協力する生徒（協働）
・思いやりのある生徒（共成）
・心身ともに健康な生徒（健康・安全）

経営目標
めざす生徒像
・自ら光り輝く基礎学力を身に付けた生徒
めざす教職員像
・生徒のよさを引き出し、素質・才能を開花させることに生きがいを感じ、五中生への愛情は誰にも負けない誇りと確かな授業力を身に付けた光り輝く教職員
めざす学校像
・生徒が明日の登校を楽しみにし、教職員が指導に喜びを抱き、地域から「あの学校は地域の誇りだ」といわれ得る地域に光り輝く学校

本校は、長い歴史と伝統をもち、地域住民と保護者の期待に応えて育てられてきました。現在もこの伝統・歴史を生かし、学校・地域・保護者が三位一体となり教育活動を進めているのが特色です。

本校は伝統と歴史と豊かな自然環境に恵まれ、生徒は充実した中学校生活を日々送っています。勉強（少人数授業等）や部活動、特別支援学級の活動と通常学級との交流、ガードレール清掃等の様々なボランティア活動、活発な学校行事（運動会や音楽会）、地域行事への参加（中学生御興）等が学校と地域・保護者の協力のもとに行われ、より高い教育効果を目指し、その結果が各方面に表れています。